

## JIS 規格の動向 (2010.6月24日現在)

社団法人繊維評価技術協議会

### A . 2009年6月21日に改正で告示された JIS L 規格

- **JIS L1096 織物及び編物の生地試験方法**

- 1) 名称変更：旧名称「一般織物試験方法」から前記名称に変更
- 2) JIS L1018 と統合
- 3) 寸法変化率試験方法を統合し、簡素化を図った。

L1909 の生地部分、L1018 及び L1096 の寸法変化率試験方法を統合した。

L1096 は、0.5%に丸める方法を、0.1%に統一、L1909 は、0.5 単位と協議により 0.1 単位の使用ができることにした。

回復装置を用いた方法の削除

- L 1909 繊維製品の寸法変化試験方法

生地部分の寸法変化率試験方法を JIS L1096 に統合することにより、**製品のみの寸法変化率試験方法となった。**

0.1%表示方法も当事者間の取り決めにより可能とした。

- L 1095 一般紡績糸試験方法

他規格改正との整合化他書式の見直しをした。

- L 1907 繊維製品の吸水性試験方法)

滴下法

**吸水確認時間を 60 秒までとした。**

沈降法

沈降しない時間の確認を 60 秒までと短縮した。

また、「試験枚数を 3 枚とし、3 枚中一枚が沈降しないとき、新たに 1 枚を追加する。

この 4 枚のうち 2 枚が沈降しないときは、沈降しないとする」と試験基準を明確化した。

### B . 2009年6月21日に廃止で告示された JIS L 規格

- JIS L1018 ニット生地試験方法 (L 1096 に統合したことにより L 1018 は廃止)

L 1096 にウエールとコースの呼び名を入れた。

編物独自の試験方法は、L 1096 にそのまま移行した。

### C . 2009年12月に改正審議開始規格

- JIS L 1918:2005 繊維製品の皮膚一次刺激性試験方法 - 培養ヒト皮膚モデル法

2009.12 ~ 2010.10 の期間で改正原案作成の審議中

## D. 2010 年度に改正審議終了規格

### ■ JIS L 1041:2000 樹脂加工織物及び編物の試験方法

1. 厚生省令改正と原則整合化。
2. 対照液を「水」から「緩衝液」へ変更（厚生省令と異なる規定）。
3. 記述方式を簡条書きへ変更。
4. 塩酸抽出判別法（名古屋市衛生研究所法）を附属書（参考）として規定。
5. ISO 法を規定。

### ■ JIS L 1058:2005 織物及び編物のスナッグ試験方法

1. 試験方法ごとに、記述を完結させた。
2. 3-5 級から、3.5 級表示へ、表示形式を変更。

### ■ JIS L 1093:2005 繊維製品の縫目強さ試験方法

現縫目横置き方向引張試験方法の他に、縫目縦置き方向及び ISO 法を追加した。

1. A-1 法（縫目水平法） 主に織物に適用する。
2. A-2 法（縫目垂直法） 主に伸びの大きい織物及び編物に適用する。
3. A-3 法（ISO 法） 主に織物に適用する。

## E. H22 年度改正審議 及び 確認申請予定 JIS

### 1. 改正審議開始規格 2010.04 ~ 2011.02

- JIS L1030-1:2006 混用率試験方法 - 第 1 部：繊維鑑別
- JIS L1030-2:2005 混用率試験方法 - 第 2 部：繊維混用率
- JIS L1057:2006 アイロン寸法変化率試験方法
- JIS L1060:2006 プリーツ性試験方法
- JIS L1076:2006 ピリング試験方法
- JIS L1099:2006 透湿度試験方法
- JIS L1919:2006 防汚性試験方法
- JIS L1905:2000 シームパッカリング評価方法

### 2. 確認申請予定規格

- JIS L0105:2006 繊維製品の物理試験方法通則
- JIS L0208:2006 繊維用語 - 試験部門
- JIS L0209:2006 紡績用語
- JIS L0211:2006 繊維用語（メリヤス部門）
- JIS L0220:2006 繊維用語 - 検査部門
- JIS L1019:2006 綿繊維試験方法
- JIS L1056:2006 摩擦溶融試験方法
- JIS L1917:2000 表面フラッシュ燃焼性試験方法
- JIS L4107:2000R 一般衣料品
- JIS L1062:2006 織物の目寄せ試験方法

以上